



(1) 宗家實生重英氏の〔翁〕(寶生會舞臺披に於て)

(1) Mr. S. Hosho, a man of head family, as "Okina", a famous play of Japanese "Onohi".

寶生會館の建設に就て

寶生會能樂堂は大正十二年大震災の際悉く焼失した。

明治天皇 前田侯爵邸に行幸ありし際 上覽に供したる舞臺を現侯爵の好意によりて寶生宗家へ永久使用を許され、松平頼壽伯は舊同伯爵邸跡千餘坪の敷地の使用をも許され、協議の結果能樂堂再建の事となつた。

是に役員の熱誠なる努力と會員の賛成とにより殿堂建築の權威大江工學士の設計、清水組の工事によりて新能樂堂は建設せられた。

災火の中より救ひ出せる山緒ある古能面幾百、鼓に斯道重要記録、安田善次郎氏の好意による装束能面、前田侯爵家より贈られたる能道具等震災前の數倍のもの集りて、寶生會館倉庫中に宗家の重寶として藏せらる事となつた。

從來の見所は座席のみであつたが今回は座席と、椅子席とを備へて時代に順應すると共に、能樂の趣味を普及する爲、東京中央放送局と協定して、放送室を設け實驗の結果は頗る好成績を得たとの事である。而して昭和三年四月一日盛大なる舞臺開を行ふに至つた。